

令和 7 年度学校関係者評価報告書

東日本デザイン&コンピュータ専門学校は、本校の目的及び社会的使命を達成するため、教育活動の状況について自ら行う点検及び評価を実施し、さらに学校関係者評価委員会での評価を実施し、この報告書にまとめました。

【項目1】教育理念・目的・目標

【項目2】教育課程、教育の実施、学修成果

【項目3】学生の受入れ学生支援

【項目4】教育実施組織・教員

【項目5】教育環境

【項目6】教育活動の基盤と改善・向上の取組

令和 8年 5月 1 日

学校法人山崎学園

東日本デザイン&コンピュータ専門学校

【項目1】 教育理念・目的・目標（評価：3）

- ・「理念・目標」「教育の特色」は Web サイトにも掲載すべき。目標の共有。
- ・しっかりしたものがあるので、掲載しないのは勿体ない。

【項目2】 教育課程、教育の実施、学修成果（評価：3）

- ・AI の汎用化で今後の活動が大きくかわるのではないか。
- ・卒業生の活躍をもっと把握する必要がある。卒業生の活躍は学校の評価。
- ・学生に対しての支援は手厚い印象。
- ・前回の課題が改善されていたので良いと感じた。

【項目3】 学生の受入れ学生支援（評価：2.75）

- ・募集方法には特に問題なし。募集施策は検討の余地あり。
- ・マンガ・アニメなどは、留学生の需要があるのではないか。

【項目4】 教育実施組織・教員（評価：3）

- ・AI を活用した教育についてもっと積極的に導入してはどうか。
- ・AI が生成したものを「常に正しい」と盲信し、責任を取れない事例が発生している。教育機関においては、AI を活用する前提に立ちつつも「生成物に対して責任を持つ」という姿勢を教えることが最も重要である。

【項目5】 教育環境（評価：2.75）

- ・AI の利用を積極的に環境として導入すべき。
- ・AI がアプリケーションのオペレーション技術のハードルを下げています。今後はもう一つ上流の考え方を学んでいかないと、オペレータでは生き残っていけない時代がすぐにやってくるのではないかと思います。

【項目6】 教育活動の基盤と改善・向上の取組（評価：3.25）

- ・認識されている「課題」に対して、計画性をもって解決していつてもらえるといいと感じる。また、企業から求められる人材も変化スピードが早いため、良くウオッチして多くの企業との交流を深めていつてもらうことが必要。

作成日：令和 8年 3月 31日

自己点検評価表

「専修学校における学校評価ガイドライン」（改訂版）対応

学校法人名：学校法人 山崎学園

学 校 名：東日本デザイン＆コンピュータ専門学校

◆ 修学支援新制度の認定 ☒有 ☐無

◆ 大学院入学資格（高度専門士）が付与される専門課程 ☐有 ☒無

◆ 外国人留学生キャリア形成促進プログラム認定 ☐有 ☒無

◆ 職業実践専門課程の認定 ☒有 ☐無

認定課程名称：商業実務専門課程 デザイン学科 及び コンピュータ学科

【20260215版】

【項目1】 教育理念・目的・目標

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教育理念、目的及び 目標の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	3	・学則、細則 ・学生生活の手引き ・学校要覧 ・学校パンフレット、募集要項

①状況説明

【教育理念】

「すべては未来をつくる学生の夢の実現のために」

専門的な知識・技術・技能を身につけたスペシャリストとして、産業界の成長を支え、職業人として豊かな人生を送ることができる人材を育てることを使命とします。

【養成する人材像】

本校は、学校教育法に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い技術教育を行い、デザイン及びコンピュータに関する知識技術を習得させ、もって産業界並びに社会公共に貢献できる人材を育成することを目的とする。

②課題及び今後の改善方策

特になし

③特記事項（優良な取組等）

特になし

【項目2】教育課程、教育の実施、学修成果

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教育課程の編成と授業科目	①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	3	・学則、細則 ・学生生活の手引き ・シラバス ・授業計画 ・教育課程編成委員会議事録
	②外国人留学生に対して、日本国内に就職する際に必要となる日本社会の理解の促進に資する授業科目を300時間以上開設していること。 【注）外国人留学生キャリア形成促進プログラム】		
2 教育の実施	①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	3	・シラバス ・授業計画 ・学則、細則 ・成績評価基準
	②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という）の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定していること。【注）職業実践専門課程】	2	・シラバス ・授業計画 ・学則、細則 ・成績評価基準
3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	3	・シラバス ・学則、細則 ・学生生活の手引き
4 学修成果目標の達成	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	3	・学則、細則 ・シラバス ・学生生活の手引き ・学生のポートフォリオ ・検定結果報告書 ・学校パンフレット

状況	学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	3	・学則、細則 ・シラバス ・学生生活の手引き ・学生のポートフォリオ ・就職活動証明書、就職活動報告書、就職実績
----	-------------------------------------	---	--

①状況説明

2-②について、教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に事前の設定はしていない。

②課題及び今後の改善方策

各学科、コースにおいて一律の割合を設けることは困難と考えるが、今後は幅を持たせた割合を設定したい。

③特記事項（優良な取組等）

特になし

【項目3】 学生の受入れ学生支援

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、可否を決定していること。	3	・学則、細則 ・学校パンフレット、募集要項 ・公式Webサイト ・入試記録 ・入試志願者一覧表 ・就学支援新制度 確認申請書
	②学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること。 【注】修学支援新制度機関要件の確認 【注】外国人留学生キャリア形成促進プログラム】	3	・学則、細則 ・学校パンフレット、募集要項 ・公式Webサイト ・学校基本調査 ・就学支援新制度_確認申請書
2 自主的な学習の促進に対する支援	学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。	2	・シラバス ・補講願、再試験願 ・学生指導報告書 ・AO入試合格者向け課題 ・学生生活の手引き
3 多様な学生に対する支援	①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。	3	・学校パンフレット ・校務分掌 ・カウンセリング記録 ・学生指導報告書 ・Sプラン
	②特に海外からの留学生について適正な在籍管理、進路(就職)指導を行うとともに、日本人学生との交流の機会が確保されていること。 【注】外国人留学生キャリア形成促進プログラム】		
4 学生生活に関する支援	①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	3	・学校パンフレット ・学生生活の手引き ・カウンセリング室案内、記録 ・個人面談日程
	②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	3	・学生生活の手引き ・学校要覧 ・カウンセリング室案内、記録 ・指導記録 ・減免規定
	③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。	3	・学校保健計画 ・健康診断、健康診断証明書 ・年間行事予定表 ・校務分掌

④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	3	・ 減免規定 ・ 学校パンフレット、募集要項 ・ オリエンテーション配布資料
⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	3	・ 学生生活の手引き ・ 学校パンフレット ・ 就職部 ・ 模擬面接

①状況説明

2について、入学前教育はAO入試合格者のみの実施に留まっている。

②課題及び今後の改善方策

入学前教育については高等学校の授業、部活動、行事等への影響を考えると慎重に進める必要がある。

③特記事項（優良な取組等）

特になし

【項目4】教育実施組織・教員

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教員の配置、募集、採用	①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること。	3	・ 教員資格証明 ・ 履歴書、職務経歴書 ・ 就業規則 ・ 教員募集案内(求人票)
	②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。	3	・ 学校基本調査、職員名簿 ・ 時間割一覧 ・ 教員別授業コマ数管理表 ・ 教員資格証明 ・ 履歴書、職務経歴書
2 教員の組織編制等	①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	3	・ 学校基本調査、職員名簿 ・ 組織図 ・ 職員会議議事録 ・ 講師会議
	②教員間で連携、協力体制を構築していること。	3	・ 校務分掌、職員担当表 ・ 組織図 ・ 職員会議議事録 ・ 講師会議 ・ 校務日誌
3 教員の資質の向上	①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	2	・ 職員研修報告書 ・ 実習・演習等において連携する企業等一覧
	①-2特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていること。【注）職業実践専門課程】	3	・ 職員研修計画 ・ 職員研修報告書 ・ 職業実践専門課程_別紙様式4
	②教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。 【注）職業実践専門課程】	3	・ 職員研修計画 ・ 職員研修報告書 ・ 職業実践専門課程_別紙様式4

①状況説明

3-①について、教員の研究活動、自己啓発等への支援は十分とは言えない。

②課題及び今後の改善方策

今後、教員の研究活動、自己啓発等への支援として、それに必要な費用や時間の確保を段階的に行う。

③特記事項（優良な取組等）

特になし

【項目5】 教育環境

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 教育環境の整備	①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	3	・ 学校要覧 ・ 教室配置図 ・ 学生生活の手引き
	②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。	3	・ 学校要覧 ・ 教室配置図 ・ 学生生活の手引き
	③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。		・ 図書目録
2 安全対策、防災組織	①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	3	・ 学校安全計画 ・ 防火管理規定 ・ 防犯カメラ ・ 避難訓練実施要項 ・ 各種設備の定期点検表
	②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。	3	・ 避難訓練実施要項 ・ 各種設備の定期点検表 ・ 学生生活の手引き
3 施設・設備等の点検、改善等	①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。	2	・ 各種設備の定期点検表 ・ 設備等導入申請
	②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。	2	・ 各種設備の定期点検表 ・ 設備等導入申請

①状況説明

3について、実施はしているがその計画や記録を残せていない。

②課題及び今後の改善方策

今後、施設・設備等の点検、改善等に関しての資料や記録を残すようにする。

③特記事項（優良な取組等）

特になし

【項目6】教育活動の基盤と改善・向上の取組

小項目	評価の基準	自己点検 評価結果	エビデンス等
1 中期事業計画と財務 基盤	①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。	2	・理事会議事録 ・教育課程編成委員会議事録
	②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	3	・財産目録 ・貸借対照表 ・収支計算書 ・事業報告書
2 学校運営	①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む。）。	3	・学校要覧 ・学則、細則 ・就業規則 ・理事会会議規則 ・理事会議事録
3 学校評価の実施と改 善活動	①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。	3	・学校関係者評価委員名簿 ・学校関係者評価票 ・学校関係者評価報告書 ・自己点検評価表
	①-2特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。【注】職業実践専門課程】	3	・教育課程編成委員会議事録 ・教育課程編成委員会委員会名簿 ・教育課程編成委員会規則 ・職業実践専門課程_別紙様式4
	②学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	3	・自己点検評価表 ・学校関係者評価報告書 ・公式Webサイト
	③学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	2	・自己点検評価表 ・学校関係者評価報告書
4 社会からの理解と情 報の公表	①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	3	・職業実践専門課程_別紙様式4 ・公式Webサイト ・自己点検評価表 ・学校関係者評価報告書
	②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得よう取組んでいること。	3	・校務分掌 ・年間行事予定表 ・公共職業訓練受託契約書 ・学園施設設備利用許可書

①状況説明

1-①について、中長期的計画が書面にまとめ切れていないように感じる
3-③について、改善活動が弱いように感じる。

②課題及び今後の改善方策

1-①について、中長期的計画の書面への落とし込みを行っていく。
3-③について、改善活動がしやすい組織作りや役割分担を明確にする。

③特記事項（優良な取組等）

特になし